

# 論理的思考と経営

『論理的思考と経営って、どんな関係にあるのだろう？』 誰もが抱く疑問です。

そもそも、『論理的思考』ってキライだし、『数学』っぽくてイヤだ。という人もいるでしょう。

しかし、私たちは何かを説明するとき、何かをお願いするとき、順序立てて話しませんか？ 順序立てて話すために、考えを順序立てて整理します。この何気なくやっている『順序立てて考える』事が、『論理的思考』なのです。そうです。皆さんは気づいていないだけで、いつも論理的な考え方をしているのです。

では、なぜ『順序立てて話す』のでしょうか？ そのように話すと、その人が動いてくれるからでしょう。また、『順序立てて考える』と、その先の発想も出てきます。

ここで、『論理的思考』と『経営』がつながります。『経営』とは、人を動かし組織を動かすことです。人をうまく動かすには『論理的に話す』事が重要になります。『論理的に考える』事によって、的確な次の一手も打てます。

でも、『経営に携わらない一般の会社員には不要だろう』との声も聞こえてきそうです。そんなことはありません。どんな職場でも上司を説得し、部下を使うことは同じでしょう。そうです。みんな人を使って仕事をしているのです。人を使うためには、『論理的思考』ができるとう利です。上司をうまく説得できる人、部下をうまく使える人、そのような人は出世も早いかもしれません。その結果、給料も上がるのではないのでしょうか。

『人と付き合うには、感情だ！』と言われる事も確かです。私も同感です。人間は感情的な生き物です。感情的に発想するのは当たり前です。そこに理性(論理的思考)をバランスよく加えることで、味わいのある思慮深い賢い人間に成長できるのではないのでしょうか。